

■コメント

1. 新型インフルエンザ

第30週は新型インフルエンザウイルスが5人から検出されました。

2. ヘルパンギーナ

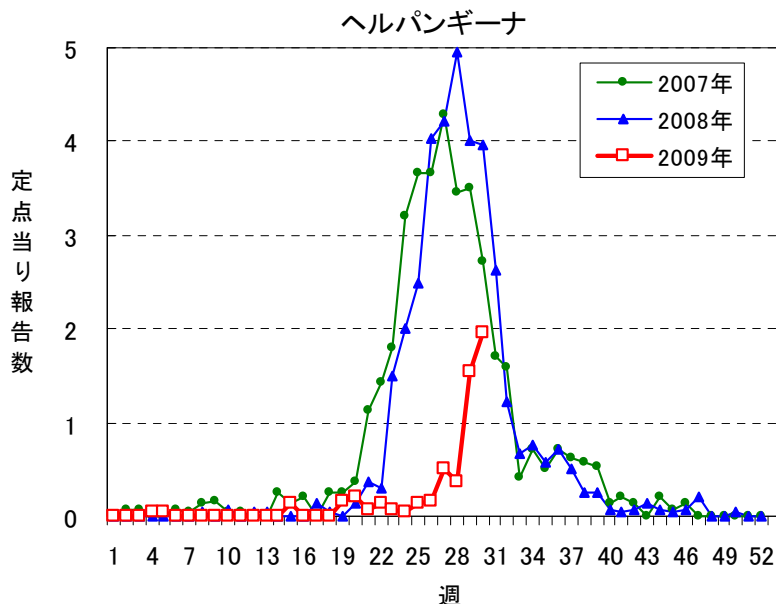
定点当たり1.96人とやや増加しています。安芸区7.5人と特に多く、中区4.3人となっています。2週続けて増加しており注意が必要です。

3. インフルエンザ

定点当たり0.62人と急増しています。この時期としては多くなっていますので注意が必要です。

4. 流行性耳下腺炎

定点当たり1.33人とほぼ横ばいとなっています。安芸区4.5人となっています。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)間	発生記号
インフルエンザ	23	0.62	0.01	↑	ヘルパンギーナ	47	1.96	2.78	↗
咽頭結膜熱	7	0.29	0.60		流行性耳下腺炎	32	1.33	1.22	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	0.83	↓	RSウイルス感染症	2	0.08	-	
感染性胃腸炎	71	2.96	3.40	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	16	0.67	0.69	↗	流行性角結膜炎	15	1.88	1.13	↗
手足口病	12	0.50	2.65		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	6	0.25	0.38		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.46	
突発性発しん	20	0.83	0.92		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.28	
百日咳	4	0.17	0.08		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	8	123	男性(40歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・3人、女性(80歳代)・3人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	15	女性(30歳代)・O157
4	レジオネラ症	2	5	男性(50歳代)、男性(50歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第26週	－	9	51	102	38	5	8	19	8	4	20	－	1	19	－	－	2	－
		第27週	5	4	32	88	26	7	12	19	9	12	21	－	－	13	1	－	2	－
		第28週	1	6	39	97	29	6	11	16	4	9	15	－	1	10	1	2	1	－
		第29週	6	7	29	92	30	13	4	23	4	37	29	－	－	8	2	1	2	－
		第30週	23	7	10	71	16	12	6	20	4	47	32	2	－	15	－	1	1	－
定点当り	広島市	第26週	－	0.38	2.13	4.25	1.58	0.21	0.33	0.79	0.33	0.17	0.83	－	0.13	2.38	－	－	0.29	－
		第27週	0.14	0.17	1.33	3.67	1.08	0.29	0.50	0.79	0.38	0.50	0.88	－	－	1.63	0.14	－	0.29	－
		第28週	0.03	0.25	1.63	4.04	1.21	0.25	0.46	0.67	0.17	0.38	0.63	－	0.13	1.25	0.14	0.29	0.14	－
		第29週	0.16	0.29	1.21	3.83	1.25	0.54	0.17	0.96	0.17	1.54	1.21	－	－	1.00	0.29	0.14	0.29	－
		第30週	0.62	0.29	0.42	2.96	0.67	0.50	0.25	0.83	0.17	1.96	1.33	0.08	－	1.88	－	0.14	0.14	－
	全国	第28週	0.21	0.40	1.37	3.65	1.07	1.09	0.24	0.82	0.04	1.72	0.89	0.05	0.01	0.56	0.03	0.03	0.39	0.01
		第29週	0.22	0.40	1.20	3.38	1.09	1.46	0.20	0.82	0.04	2.49	0.90	0.06	0.02	0.54	0.03	0.04	0.36	0.02

■新たに判明した病原体検出状況(新型インフルエンザを除く)

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	1	女	2009/05/11	咽頭拭い液	パラインフルエンザ3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における新型インフルエンザ発生状況(第30週)

●感染症法施行規則改正前(全数把握期間)(2009年7月20日～23日)

患者	年齢	性別	発症日	届出受理日
No. 56	10歳代	男性	7月18日	7月20日
No. 57	10歳代	男性	7月18日	7月20日
No. 58	10歳未満	女性	7月18日	7月21日
No. 59	10歳未満	男性	7月19日	7月22日

* 感染症法施行規則改正前(7月23日まで)に、広島市では、59人の新型インフルエンザの患者が確認されました。

●感染症法施行規則改正後(2009年7月24日～26日)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体定点		1							1
集団発生(確定患者)									0
集団発生(疑似症患者)									0
入院事例									0
合 計	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(備考1) 病原体定点や集団発生の患者で入院した場合は「入院事例」として計上

(備考2) 「集団発生(疑似症患者)」以外はPCR検査による確定例

★感染症法施行規則改正後のサーベイランスについて

規則改正(7月24日施行)により、これまでのすべての患者の報告を求める全数把握を中止し、大規模な流行につながる可能性のある集団感染や、入院事例など重症化およびウイルスの病原性の変化等を早期に把握するサーベイランス体制に移行しました。この改正により、新型インフルエンザの集団発生の場合のみ、その集団に属する患者(疑似症患者を含む)について感染症法に基づく発生届の対象となります。新型インフルエンザの患者でも散发事例は届出の対象になりません。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2009年第30週(7月20日～7月26日)